

宗内寺院紹介 **12**

厄除元三大師
浮岳山

深大寺



当山は奈良時代天平五（七三三）年、当地の産になる満功上人が水神「深大王」を勧請し開山。寺宝の釈迦如来像（飛鳥時代・国重文）は、関東随一の古仏として夙に有名。貞観年中、清和天皇勅を下し台宗に改まるや源家の尊崇を集め、源範円らが別当となり、東国第一の密教道場として隆盛を極めてゆく。当時存在した常行堂の本尊「宝冠阿弥陀像」や、僧形の古像では我が国最大、六尺五寸の法量を誇る「慈恵大師坐像」などが今に伝わる。また、室町期の住持長弁は文才で知られ、その文集「私家抄」は、元亀法難後の再興勸進状に強く影響した。今も水と緑豊かな境域には、江戸期より寺の名物である蕎麦を啗う店が軒を連ね、東京を代表する観光地として常に賑わっている。毎年三月三日・四日の厄除元三大師大祭は、東京に春を呼ぶ深大寺のだるま市として大いに賑わう。

厄除元三大師
浮岳山 **深大寺**

住所／〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-15-1
電話番号／042-486-5511